

東京都中体連の63年間のあゆみ (昭和22～平成23年度)

昭和22年・都中体連結成・発足

松田、長沼、粕谷、川瀬、古梶、荒井、坂田諸氏の発意により、11月1日結成。
・初代理事長に野口彰氏就任。

23年・都中学校体育指導者連盟初代理事長松田利次氏就任。

・都中体連の事業は保健体育の研究活動からと、結成の精神を顕現し、代々木中学校で授業研究を公開する。

・陸上競技、野球、ハンドボール、卓球、排球、籠球、水泳、ラグビー発足。

24年・競技会開催の方針を年3回と決定する。・庭球、体操、ダンス発足。

25年・第1回ジュニアレクリエーション大会参加。全国中体連結成を呼びかける。

・ソフト部発足。

26年・都中学校体育指導者連盟第2代理事長に山岡二郎氏就任。

・第2回ジュニアレクリエーション大会(東京大会)実施。・サッカー、柔道部発足。

27年・研究活動充実発展の年。発足5周年記念会報の発行、保健委員会の研究発表(宮前中、中野二中、国立中)。都中体連ニュース発行。

加盟校は連盟費 250円を納付、各部部費 200円以内を別に納付

28年・関東地区保健体育協議会に参加 腰越海岸に臨海学校開設。・しない部発足

29年・関東中体連協議会結成。

・都中学校体育指導者連盟第3代理事長に長沼誠氏就任。

・スポーツ用品等の推せん、公認制を採択する。

・「学徒の対外競技参加の方針」文部次官通達公布される。これらに先だち慎重に検討し、対外試合は都内大会に止むべき方針を決定する。

30年・全国中体連を結成する。放送陸上、通信水泳大会を実施する。

・保健体育研究会を開催(岩淵中)・バドミントン部発足。

31年・機構改革。初代会長に竜沢良芳氏就任。第2代理事長に山岡二郎氏就任。

・第1回関東中体連保健体育研究協議会を開催(志村一中)

32年・都中体連発足10周年、記念誌を発行する。

連盟会費 1校300円

33年・都中体連ニュース「50号」で一応発行を中止する。

・第3回AG大会の公開演技に出場。並びに団体入場係の派遣に協力する。

34年・平良恵路氏2代会長に就任。

・第4回関東地区保健体育研究協議会の開催(中野一中)

35年・オリンピック東京大会開催の決定に伴い、学校体育もスポーツ大会行事に追われる傾向が現れ、都中体連は注意を喚起。・すもう部新設17部となる。

36年・規約改正、研究活動の推進体制を整え、担当副理事長1名増員。

- 37年・沢畑泰二氏3代会長に就任。・第1回東京都中学校総合体育大会を実施する。
連盟会費 1校300円
- 38年・都中体連発足15周年記念会報発行。・都総合体育大会を区部、多摩地区に分ける。
- 39年・オリンピック東京大会の開催、各方面に都中体連協力する。
・「体力づくり」を主題として研究大会開催(戸塚一中)
- 40年・幸田 勝氏4代会長に就任。
・第4回全国学校研究連合東京大会を開催(戸塚一中)
・研究集録「体育文化遺産と今日的傾向」発刊。研究発表(中野富士見中)
- 41年・第3代理事長に大沢 亨氏就任。
・都中学校総合体育大会を都教委、校長会の主催とし、中体連が主管団体となる。
・研究集録「調和と自主研究の推進」発行。・研究発表(雑司谷中)
- 42年・発足20周年記念式典及び記念誌発行。
・「体力づくり」研究発表(葛飾・奥戸中、品川・日野中)
- 43年・福島恒春氏5代会長に就任。・全国中学校水泳大会東京大会実施。
・「体育の学習指導の実践」研究発表(雑司谷中)
- 44年・関東中体連保健体育研究協議会(東京大会)を開催(オリンピック青少年スポーツセンター)
・「格技の指導法(剣道)」研究発表(貝塚中)
- 45年・理事長大沢亨先生急逝。・大沢亨先生追悼「会報」発行。
・全国大会(5種目)・関東大会(4種目)はじまる。
・「児童生徒の運動競技について」の次官通達改正。
・「クラブ活動の指導」研究発表(羽村一中)
- 46年・新井吉之丞氏6代会長に就任。・第4代理事長に宮内宏氏就任。
・総合体育大会の期日を5月より7月に変更、選手権大会を兼ねて実施。
・次官通達をめぐり、学校体育と社会体育との関係について研究始める。
・「特性に応じた指導」研究発表(千川中) 「体操の指導」研究発表(四ツ木中)
・全国大会(5種目) ・関東大会(2種目)追加される。
- 47年・発足25周年記念式典(岸体育館)及び記念誌を発行する。
・指導要領改訂、必修クラブ活動はじまる。
・「特性に応じた指導」千川中、「球技の指導」文京五中、研究発表。
・ **加盟費 1,000円**
- 48年・片寄八千雄氏7代会長に就任。大会参加費、加盟費を改正する。
・第5代理事長に長沼誠氏就任。
・「教育機器の活用による指導法」研究発表(高砂中)
- 49年・「体操による体力づくり」(東蒲中)「体育における評価」(開進一中)で研究発表。
・本部費1校2,000円に値上げする。本部組織改正。

- 50年・第14回部総会の運営を変え選手権大会と切り離す。
- ・中体連バッチテスト要項完成、実施に進む。
 - ・全国学校体育研究大会(東京大会)を開催、王子中、高砂中で公開授業。
- 51年・長沼 誠氏8代会長に就任。・第6代理事長に川口一夫氏就任。
- ・ 関東大会4種目追加開催。
 - ・ 部費の値上げ 1,000円
- 52年・川口一夫9代会長に就任。発足30周年記念行事及び記念誌を発行する。
- ・第7代理事長に酒井一九氏就任。
 - ・第11回全国女子体育研究大会、東京で開催(中体連主管)。
 - ・ 連盟費 2,000円
- 53年・富田武忠氏10代会長に就任。・第8代理事長に黒木呉氏就任。
- ・関東中学生競技大会が教育内活動として再出発する。
- 54年・大高正夫氏11代会長に就任。
- ・関東中体連保健体育研究協議会(東京大会)を開催(オリンピック青少年スポーツセンター)。
 - ・「集団スポーツの指導(ハンドボール)」公開授業(笹塚中)
 - ・「地域ぐるみの体育指導と体育実践」研究発表(三宅島・坪田中)
 - ・全国学校体育研究大会(東京大会)を開催。普門館(全体会)、日体大・国士舘大(公開演技)。
 - ・文部次官通知「児童生徒の運動競技の基準」改正が出された(54.4.5 文体体81)
- 55年・第9代理事長に日和佐亮氏就任。
- ・「授業研究」研究奨励校(福生一中)
 - ・「自ら考え、判断し、行動する保健体育学習の展開」研究協力校の発表(中村中)
- 56年・館野正義氏第12代会長に就任。事務局・広尾中、電話架設(5月 407-3662)
- ・「心とからだの健康づくり」研究奨励校の発表(板橋一中)
 - ・「自ら考え、判断し、行動する保健体育学習の展開」研究協力校の発表(中村中)
- 57年・原島信義氏第13代会長に就任。・新体操部発足。
- ・「心とからだの健康づくり」研究協力校の発表(雪谷中)
- 58年・芳賀利正氏第14代会長に就任。
- ・事務局・松濤中、電話架設(485-5978)
 - ・3年継続検討の会費値上げ決定(59年より実施)
- 59年・鈴木誠太郎氏第15代会長に就任。
- ・第23回東京都中学校総合体育大会を実施(区部、多摩統合する)
 - ・心とからだの健康づくり、研究奨励校発表(両国中)
 - ・本部費3,000円、部費2,000円に値上げ
- 60年・福島直吉氏第16代会長に就任。第10代理事長に後藤敏夫氏就任。
- ・「豊かな心、たくましい体について」研究協力校の発表(北・桜田中)

- ・第2回全国中体連研究発表会(都中体連主管)生涯体育、部活動。
- 61年・「心とからだの健康づくり」奨励校発表(千早中)
- ・事務局 本町中 電話架設 376-9950
 - ・全国中体連選抜体育大会(バレーボール、陸上競技、相撲)を実施する。
 - ・第3回中体連研究大会を実施する(青山会館)
 - ・ スキー・スケート部加盟。
 - ・ 規約改定—区市郡島に支部を置く(多摩地区中体連については23区と同じように各市、西多摩郡に支部長及び地区責任理事、地区理事、研究部理事を設置)
 - ・ 規約改定—各専門部に顧問(校長)を置く
- 62年・並木昌一郎氏第17代会長に就任。
- ・「心とからだの健康づくり」奨励校発表(銀座中)
 - ・11月17日創立40周年記念式典並びに第1回東京都中体連研究大会を開催。
- 63年・井上輝夫氏第18代会長に就任。
- ・第33回関東中体連保健体育研究協議会(東京大会)を開催(大島)。
 - ・第2回東京都中体連研究大会を開催「生涯体育を指向した部活動のあり方」。
 - ・「心とからだの健康づくり」奨励校発表(金町中)
- 平成元年・太田秀氏第19代会長に就任。
- ・(財)日本中学校体育連盟設立祝賀会を開催(都中体連主管)
 - ・事務局を渋谷区丸山町14-3 日興パレスビル渋谷 506 に設置。
 - ・武道推進研究奨励校発表(松ノ木中)
 - ・保健体育科研究奨励校発表(入谷中)
 - ・体力づくり研究奨励校発表(金町中)
 - ・第3回東京都中体連研究大会を開催「生涯体育を指向した部活動のあり方」。
- 2年・中西朗氏第20代会長に就任。
- ・ 加盟費等値上げ決定(2年度より実施)
本部加盟費 4,500円
 - ・第4回東京都中体連研究大会を開催「生涯体育を指向した部活動のあり方」。
 - ・体力づくり研究奨励校発表(東陽中)
- 3年・会長選出について、東京都校長会と東京都中体連との間に確認書を取り交わし、東京都中体連の組織内から会長を選出することになった。
- ・中西朗氏会長辞任。組織内会長として後藤敏夫氏就任。
 - ・第11代理事長に落合喜孝氏就任。
 - ・総合体育大会30回記念事業として「生徒意見発表会」を行う。
 - ・「心とからだの健康づくり」研究奨励校発表(松濤中)
 - ・21世紀を指向した東京中体連3カ年実施計画作成のため、財政・競技・研究検討

委員会を設置する。

- ・ 第 5 回東京都中体連研究大会を開催「生涯体育を指向した部活動のあり方」。
- 4 年・ 体力づくり研究奨励校発表(東陽中)
 - ・ 吉村英雄氏第 21 代会長に就任。
 - ・ 体力づくり研究奨励校発表(東村山二中)
 - ・ 体育活動の充実研究奨励校発表(荒川支部)
 - ・ 第 6 回東京都中体連研究大会を開催「生涯体育を指向した部活動のあり方」。
- 5 年・ 「各運動の基礎・基本の徹底と個性・創造性の育成を図る体育活動の推進」都中体連研究奨励校発表(荒川四中)
 - ・ 第 7 回東京都中体連研究大会を開催「生涯体育を指向した部活動のあり方」。
 - ・ 池田熙氏第 22 代会長に就任。第 12 代理事長に月岡透氏就任。
 - ・ 臨時競技部長会「大会参加費と競技部の運営経費について」
- 6 年・ 東京女子体育連盟創立 40 周年記念大会「育み合おう、感じる心を」(日体大)
 - ・ 関東中学校体育大会東京大会 柔道・ハンドボール
 - ・ 「自らが学習課題をもち、意欲的に運動を実践する生徒の育成」都中体連研究奨励校発表(武蔵野四中)
 - ・ 「生き生きと学習課題に取り組みやり抜く生徒の育成」都中体連研究奨励校発表(町田一中)
 - ・ 第 8 回東京都中体連研究大会「生涯体育を指向した部活動のあり方」(剣道・ソフトボール・研究部)を開催。
 - ・ 競技部加盟費 3,000 円
 - 大会参加費 団体 3,000 円 個人 500 円 ダブルス 700 円
 - リレー 1,000 円
- 7 年・ 板橋弘徳氏第 23 代会長に就任。
 - ・ 関東中学校体育大会東京大会。サッカー、陸上、バドミントン
 - ・ 全国中学校体育大会東京大会。水泳、新体操、相撲
 - ・ 「生き生きと活動する生徒の育成」都中体連研究奨励校発表(金町中)
 - ・ 第 9 回東京都中体連研究大会「生涯体育を指向した部活動のあり方」(ハンドボール・サッカー・研究部)を開催
 - ・ 臨時競技専門部長会。「外部指導者導入について」
- 8 年・ 関東中学校体育大会東京大会。卓球、ソフトボール
 - ・ 第 41 回関東中学校保健体育研究協議会東京大会。
「生涯にわたって、体育・スポーツに親しむ生徒の育成」(武蔵野二中)
 - ・ 第 10 回東京都中体連研究大会「生涯体育を指向した部活動のあり方」(東書ホール)を開催
 - ・ 第 3 回理事会「学校教育法 83 条の各種学校生徒の都大会参加について」

- ・ 各支部を 12 地区 (12・・・島嶼) に編成
 - ・ 本部加盟費 6, 0 0 0 円、各部登録費 4, 0 0 0 円に値上げ
参加費 団体 1 チーム 5, 0 0 0 円まで 個人 1 人 6 0 0 円まで
ダブルス 1 組 7 0 0 円まで リレー 1 チーム 2, 0 0 0 円まで
- 9 年・月岡透氏第 24 代会長に就任 ・第 13 代理事長に星正雄氏就任
- ・ 関東中学校体育大会東京大会。相撲、バレーボール
 - ・ 第 11 回東京都中体連研究大会「生涯体育を指向した部活動のあり方」(豊島区立男女平等センター)「生涯にわたって意欲的に運動に取り組む生徒の育成」を開催。
 - ・ 創立 50 周年記念式典・祝賀会
「東京都中体連、功労者表彰」(東方會館)を開催。
 - ・ 関東中学校体育大会東京大会。駅伝
 - ・ 事務局移転 H10.3.24～ 豊島区立池袋中学校へ
 - ・ ブロック制 (11 ブロック、島嶼はブロックとせず、従来の支部) 完全実施に向けて検討、部により実施。
- 10 年・関東中学校体育大会東京開催。バスケットボール・ソフトテニス・水泳
- ・ 第 12 回東京都中体連研究大会(豊島区立生活産業プラザ)「生涯にわたって意欲的に運動に取り組む生徒の育成」を開催。
 - ・ 「一人一人が主体的に取り組む部活動のあり方」都中体連研究奨励校
国分寺市立第一中学校(平成 9・10 年度)
- 11 年・三辻陽夫氏第 25 代会長に就任。
- ・ 第 14 代理事長に足立和明氏就任。
 - ・ 関東中学校体育大会東京開催。軟式野球
 - ・ 第 13 回東京都中体連研究大会(雑司が谷社会教育会館)
「生涯にわたって意欲的に運動に取り組む生徒の育成」
 - ・ 「生徒一人一人の人格の向上と豊かな自己実現を目指して
～武道(柔道)指導の実践を通して～」都中体連研究奨励校
北区立岩淵中学校(平成 10・11 年度)
 - ・ ブロック制 (11 ブロック、島嶼はブロックとせず、従来の支部) 完全実施
- 12 年・関東中学校体育大会東京開催。陸上競技
- ・ 第 14 回東京都中体連研究大会(新宿コズミックセンター)
「生涯にわたって意欲的に運動に取り組む生徒の育成」
 - ・ 「体力づくり 」都中体連研究奨励校
大田区立大森第八中学校(平成 11・12 年度)
- 13 年・関東中学校体育大会東京開催。体操・新体操・剣道
- ・ 第 18 回日本中体連研究大会 (豊島公会堂・サンシャインホテル) 1 月 17. 18 日

- ・第 15 回東京都中体連研究大会(国立リハビリテーションセンター)
「自ら運動する意欲を培い、生涯にわたって積極的に運動に親しむ生徒の育成」
 - ・「課題解決学習を目指した T T による選択制授業の在り方」都中体連研究奨励校
世田谷区立松沢中学校(平成 12・13 年度)
- 14 年・原 望氏、第 26 代会長に就任
- ・第 15 代理事長に菊山直幸氏就任
 - ・関東中学校体育大会東京開催。柔道・サッカー・ハンドボール
 - ・第 16 回東京都中体連研究大会 (豊島区民センター)
「自ら運動する意欲や、健康の保持増進の基礎を培い、生涯にわたって運動に親しみ、健康な生活習慣を身につけた生徒の育成」
 - ・「生徒が自ら課題に主体的に取り組む体力づくり」東京都中体連研究奨励校
小金井市立東中学校(平成 13・14 年度)
- 15 年・第 17 回東京都中体連研究発表会 (豊島区民センター)
「自ら運動する意欲や、健康の保持増進の基礎を培い、生涯にわたって運動に親しみ、健康な生活習慣を身につけた生徒の育成」
- ・関東中学校体育大会東京開催。バドミントン
 - ・「運動部活動の活性化について」東京都中体連研究奨励地区
板橋区 (平成 14・15 年度)
- 16 年・4 月 18 日 第 26 代会長 原 望氏 逝去
- ・5 月 25 日 塩田 壽久氏 第 27 代会長に就任
 - ・関東中学校体育大会東京開催。ソフトボール・卓球
 - ・全国中学校体育大会東京開催。バスケットボール・体操競技・相撲
 - ・第 49 回関東中学校保健体育研究協議会 10 月 14. 15 日
(豊島区東京芸術劇場・豊島区立千登世橋中学校・他)
「自ら運動する意欲や、健康の保持増進の基礎を培い、生涯にわたって運動に親しみ、健康な生活習慣を身につけた生徒の育成」
 - ・第 18 回東京都中体連研究大会 (豊島区民センター)
 - ・東京都中体連研究奨励校 西東京市立保谷中学校(平成 15・16 年度)
「豊かなスポーツライフを支える体力づくり」
 - ・東京女子体育連盟創立 50 周年記念大会(小石川高校)
- 17 年・足立 和明氏、第 28 代会長に就任
- ・関東中学校体育大会東京開催。相撲・バレーボール・駅伝競走
 - ・東京都総合体育大会ラグビーフットボール大会開始
 - ・第 19 回東京都中体連研究大会 (豊島区豊島清掃事務所)
「自ら運動する意欲や、健康の保持増進の基礎を培い、生涯にわたって運動に親しみ、健康な生活習慣を身につけた生徒の育成」

- ・東京都中体連研究奨励校 練馬区立中村中学校(平成 16・17 年度)
「学校教育における部活動の役割」
- 18 年・関東中学校体育大会東京開催
バスケットボール・ソフトテニス・水泳競技
- ・第 20 回東京都中体連研究大会（豊島区豊島清掃事務所）
「自ら運動する意欲や、健康の保持増進の基礎を培い、生涯にわたって運動に親しみ、健康な生活習慣を身につけた生徒の育成」
- ・東京都中体連研究奨励校 府中市立府中第二中学校(平成 17・18 年度)
「学校教育における今後の部活動のあり方
～地域の企業等との連携を通して～」
- 19 年・第 16 代理事長に熊沢直孝氏就任
- ・関東中学校体育大会東京開催 軟式野球
- ・第 21 回東京都中体連研究大会（豊島区立明豊中学校）
「自ら運動する意欲や、健康の保持増進の基礎を培い、生涯にわたって運動に親しみ、健康な生活習慣を身につけた生徒の育成」
- ・東京都中体連研究奨励校 足立区立足立第八中学校(平成 18・19 年度)
「コーディネーショントレーニングを取り入れた授業展開・部活動」
～身体能力を高めながら、技術向上につなげる～
- ・創立 60 周年記念式典・祝賀会
「東京都中体連、功労者表彰」(ホテルフロラシオン青山)
- 20 年・関東中学校体育大会東京開催 陸上競技
- ・第 22 回東京都中体連研究大会（豊島区立明豊中学校）
「自ら運動する意欲や、健康の保持増進の基礎を培い、生涯にわたって運動に親しみ、健康な生活習慣を身につけた生徒の育成」
- ・東京都中体連研究奨励校 三鷹市東三鷹学園（三鷹市立第六中学校）
(平成 19・20 年度)
「学力・人間力・社会力をはぐくむ小中一貫教育の充実に向けて」
～わかる喜びが、自信に変わる学びをめざして～
- 21 年・熊沢直孝氏、第 29 代会長に就任
- ・第 17 代理事長に渡辺政義氏就任
- ・規約改定－組織 総務（広報）・会計・研究・競技の委員会を置く
- ・関東中学校体育大会東京開催 体操競技・新体操・剣道
- ・第 23 回東京都中体連研究大会（武蔵野市立第二中学校）
「自ら運動する意欲や、健康の保持増進の基礎を培い、生涯にわたって運動

に親しみ、健康な生活習慣を身につけた生徒の育成」

- ・東京都中体連研究奨励校 武蔵村山市立第四中学校

(平成 20・21 年度)

「運動部活動の活性化」 ～体力、学力、意欲向上との関連～

22 年・関東中学校体育大会東京開催 柔道・ハンドボール

- ・第 24 回東京都中体連研究大会（武蔵野市立第二中学校）

「主体的に運動に取り組み、健康の保持増進や体力の向上を図り、生涯にわたって明るく豊かな生活を営む態度を身に付けた生徒の育成」

- ・東京都中体連研究奨励校 練馬区立豊玉中学校

(平成 21・22 年度)

「新学習指導要領の改訂にともなう指導方法の工夫」

～男子生徒を対象としたダンス指導の在り方～

23 年・渡辺政義氏、第 30 代会長に就任

- ・第 18 代理事長に大河原嘉朗氏就任

- ・東京都中体連研究奨励校 武蔵村山市立第一中学校

(平成 22・23 年度)

「新学習指導要領の改訂にともなう指導方法の工夫」

～女性教員による女子生徒を対象とした武道(柔道)指導の在り方～